

6. 看護の指標

6.1 転倒・転落発生率及び件数

■ 解説

入院中の患者の転倒や、ベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療や手術などによるものなど様々な要因があります。転倒・転落を完全に予防することは困難ですが、その発生を限りなく少なくするためにリスクを把握して予防に取り組む必要があります。

本指標により転倒・転落予防に対する具体的な対策を考える指標になります。

算式

【転倒・転落発生率】 (分子/分母) × 100

分子: 1年間に発生した転倒・転落件数

分母: 1年間の入院患者の延べ人数

【事故率】 (分子/分母) × 100

分子: 1年間に発生した転倒・転落が事故となった件数

分母: 1年間の入院患者の延べ人数

単位

%、件

期間

年間

	入院患者延べ数	転倒・転落件数		転倒・ 転落発生率	治療率
			うち治療件数		
令和3年度	72,106	236	0	0.330%	0.00000%
令和4年度	75,003	264	1	0.352%	0.00133%
令和5年度	79,613	292	1	0.367%	0.00125%

転倒転落発生率と治療率

